【秋田市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、GIGAスクール構想の下、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、情報活用能力の育成を図り、ICTを主体的かつ適切に活用し、課題解決の方法を自ら決め、新たな課題を発見したり、他者と協力しながら解決策を見いだすことができる児童生徒の育成を目指します。

2. GIGA第1期の総括

本市では、令和2年度にGIGAスクール構想の実現に向けた児童生徒1人1台のタブレット端末の導入と校内高速ネットワークの整備を完了し、令和3年度当初より各校において活用を開始しています。

タブレット端末の積極的活用に関しては、指導主事が全小中学校を訪問し、全ての教員を対象として基本的な操作方法や授業における活用方法の演習を行う「ICT活用サポート講習会」や、プログラミングや動画編集などの演習を行う「ICT活用研修会」、各教科等における効果的な活用方法等を取り上げる「教科等研修会」等を通じて、教職員のICT活用スキルの向上を図りました。

現在、全ての小・中学校が、「端末を日常的（週に数回以上）に活用している」と回答しており、各校で積極的な活用が進んでいます。また、令和6年度からは、児童生徒が自分の学習進度や興味・関心などに応じた学びができるよう、家庭への端末の持ち帰りを進めています。

3. 1人1台端末の利活用方策

児童生徒の情報活用能力の育成を図るためには、ICTを活用した授業改善による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が重要であると捉えています。

本市では、学校訪問指導や研修会等を通して、児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面や、教職員と児童生徒がやりとりをする場面など、それぞれの学習場面を想定した効果的な活用等を提示するなど、1人1台端末を日常的に利活用するほか、教員の資質向上も図ります。

また、希望する不登校児童生徒への支援や端末を活用した教育相談、外国人児童生徒に対する学習活動等の支援、障害のある児童生徒や病気療養児等の特別な支援を要する児童生徒の実態に応じた支援等についても、1人1台端末を活用した学びを保障します。